| 学校番号 | １０７ |
|---|---|

# 令和８年度　音楽科

| 教科 | 音楽 | 科目 | 演奏研究（ピアノ） | 単位数 | １単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高校生の音楽２　（教育芸術社） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、ピアノ専攻の生徒が集まって授業を行います。
・教科書と筆記用具、プリントを綴じるためのファイルを必ず持参してください。必要に応じ、五線紙を持参してもらうこともあります。
・この授業では、専攻実技や音楽理論、音楽史などで学んだことを基礎として、将来にプロの音楽家として必要とされる総合的な力を身につけます。
　総合的な力とは（２年次）
①楽曲を分析し、調べたことを言葉によりまとめる力
＝プログラムノートや楽曲についての分析レポートを自分で作成できる力
②演奏会を企画・実演する力＝舞台マナーの向上、演奏会の成り立ちを学ぶ、自主演奏会の企画・運営・実践、演奏発表の振り返りと分析を行う力
③楽器の特徴を踏まえた演奏解釈、アンサンブル能力を身につける
④他楽器の特徴を知り、スコアリーディングの基礎知識を身につける
⑤和楽器の演奏技術と音楽理論で培った創作を応用し、ハワイのプナホウ高校と国際交流を行い、プナホウ高校の卒業ソングを創作し、テレビ会議等を通じて海を越えたコンサートを実施する。（約６時間）

2　学習の到達目標

音楽作品の演奏や鑑賞の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次の通り育成することをめざす。
【知識及び技能】演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】音楽の様式をふまえた演奏に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・演奏や鑑賞の学習を通して、楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたか、時代や様式及び演奏形態などに即した表現方法や解釈があることについて理解をしている。【知識】<br>・自らの演奏を振り返りながら、また楽曲がうまれた時代や地域、楽器等によって特徴が異なる音楽の様式を演奏者によってどのように表現しているかなど、客観性と多様性を踏まえ、自らも器楽で表している。【技能】 | ・時代や地域、楽器等による表現上の特徴や個々の作曲家の表現上の特徴などを踏まえ、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。また専門実技で培った知識・技能を生かし、自分や他者の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏となっているかどうかについて思考、判断し、表現する一連の過程を位置づけながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 | 時代や地域、楽器、作曲家等の表現上の特徴を踏まえて作品を解釈したり、様式等に即した演奏を追求することに関心をもち、音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度で主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | いろいろな表現の可能性を知る① | ・ピアノ伴奏<br>(ドイツリートを中心に)<br>・スコアリーディング<br>・様々な演奏家・編曲作品の比較演奏・鑑賞<br>・楽曲レポート発表(文化的・歴史的背景や、それらの楽曲との関わり、分析レポート) | a:表現するうえで必要となる基礎となる技術、ピアノの譜面やスコアを読み解くうえで必要な分析力、時代や様式及び演奏形態などに即した表現方法や解釈、旋律と和声との関係、歌曲における歌とピアノの関係、ステージマナーについて、理解をしている。【知識】<br>自身の演奏する楽器や、作品を演奏するためにふさわしい奏法・表現方法、身体の使い方、アンサンブルにおける表現方法、旋律や和声を創作する力、また、ステージ上における所作などの技能を身につけたうえで、器楽で表している。【技能】<br>b:専門実技で培った知識・技能を生かしながら、自分や他者、グループの演奏が音楽の様式や楽器の特徴、時代背景等をふまえた演奏となっているかどうか、歌詞に応じた創意工夫を生かした創作ができているかについて分析し、思考・判断し、どのように演奏・創作するかについて表現意図を持っている。<br>c:楽器や作品の時代背景や特徴、ピアノだけでなくスコアを読み取り作品を分析・解釈し演奏すること、諸要素を関連させて創作することに関心を持ち、音楽作品を尊重して演奏・創作・鑑賞したりする態度で主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 | ワークシート<br>レポート | | |
| 後期 | いろいろな表現の可能性を知る② | ・ピアノアンサンブル<br>・様々な演奏家、編曲作品の比較演奏<br>・演奏発表<br>・プナホウ高校との海を越えたコンサート<br>卒業ソングにふさわしい歌詞について ICT を活用し、相談<br>歌詞のイメージに合った曲を和楽器を使って創作する<br>創作した曲を動画によりプナホウ高校と共有。 | | | ワークシート<br>レポート<br>演奏聴取<br>発表 | ワークシート<br>発表<br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度